

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	海外文化体験（Overseas Cultural Experience）		
ナンバリングコード	A10317 B10614	大分類 / 難易度 科目分野	工・経・保学部 教養教育科目 / 基礎レベル 特別科目
単位数	1	配当学年 / 開講期	2 年 / 前期 後期
必修・選択区分	選択 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	A035251	クラス名	-
担当教員名	高 文局		
履修上の注意、 履修条件	演習形式なのでしっかり予習を行うことが前提となります。 帰国後は報告会としてプレゼンテーションを実施してもらいます。		
教科書	なし		
参考文献及び指定図書	なし		
関連科目	英語1～6、TOEIC、 第二外国語（韓国語）、国際事情		

○基本情報		
授業の目的	海外体験を通して、日本語・日本文化に対する客観的な評価ができるような基礎的な力を身につけます。 また、異なる文化や環境での生活体験を通じて、国際的な視野を広げ、異文化間の理解と尊重を深めます。 この科目を通じて、異なる価値観や伝統に触れ、コミュニケーションスキルを向上させ、国際的な協力と共感の力を養います。	
授業の概要	この授業は、本学が協定を結んでいる海外大学へ訪問するものとなっています。 海外体験プログラムは、短期型（1週間）とし、異文化体験を主な目的としています。 授業の進め方については、まず事前演習を実施し、安全危機管理、訪問先の文化・社会の理解、海外体験の目的明確化と個々の課題設定を行います。現地の授業では協定校との交流や現地の史跡などの視察などを行い、国内では触れにくい異文化・環境を体験してもらいます。帰国後は事後演習として、海外体験の成果などについてレポートをまとめ、各自プレゼンテーションを行います。体験者の感想などはホームページにて公開します。	
授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習形式」
	（2）複数担当の場合の方式	「該当しない」
	（3）アクティブ・ラーニング	「グループワーク」
地域志向科目	カテゴリー II：地域での体験交流活動を教育内容に含む科目	
実務経験のある教員による授業科目	該当なし	

○成績評価の指標		○成績評価基準（合計100点）		
到達目標の観点	到達目標	テスト （期末試験・中間確	提出物 （レポート・作品等）	無形成果 （発表・その他）
【関心・意欲・態度】	異文化体験に興味・関心をもち、積極的に語学研修の活動に取り組んでいる。		10点	
【知識・理解】	リスニング・リーディング活動において、聞いたり読んだりして、話し手や書き手の意向などを理解できる。		20点	
【技能・表現・コミュニケーション】	スピーキング・ライティング活動において、書いたり話したりして、自分の考えなどを表現できる。		20点	20点
【思考・判断・創造】	言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。			30点
○成績評価の補足（具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法）				
○評価方法 観点1 レポートの提出 観点2 事前・事後指導への取り組む姿勢 観点3 プレゼンテーションの実施 ○フィードバック 活動の直後に行う。				
○その他				
【海外体験プログラム】について ・留学先は年度により異なる場合があります。 ・詳しくは、国際交流室にご相談ください。				

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名 担当教員	海外文化体験（Overseas Cultural Experience） 高 文局	授業コード	A035251
学修内容					
1. オリエンテーション					
○渡航の概要					
○学習の進め方					
○評価の仕方					
予習		シラバスを持参してください。			約2時間
復習		復習プリント			約2時間
2. (事前演習)目的の明確化と課題設定					
渡航の目的を明確にしておくとともに、その課題を設定します。					
○目標設定: 個人的な目標や計画を設定します。					
○課題分析: 設定した目標に達するための障害や課題を予測し、解決するための計画を立てます。					
予習		渡航中の安全危機管理について調べる。			約2時間
復習		渡航の目的を明確にして個人的な目標と計画を設定する。			約2時間
3. (事前演習)渡航中の安全危機管理1					
○リスク評価と認識: 渡航先での様々なリスク要因を理解し、異文化環境における安全の重要性を認識する。					
○渡航前の準備: 渡航前に必要な文書や保険、予防接種などの手続きを学び、安全な旅行の基盤を整える。					
○緊急連絡手段: 異国での緊急事態に備え、現地の緊急連絡情報や大使館/領事館の連絡方法を知る。					
○クライシス対応: 災害や政治的な危機に対する対応策を学び、適切な行動と緊急避難計画を策定する。					
予習		異文化理解のための資料を調べる。			約2時間
復習		異文化環境における安全危機管理の重要性について認識する。			約2時間
4. (事前演習)渡航中の安全危機管理2					
○人身安全と健康: 渡航中の身体的、精神的健康に関する注意事項や予防策を理解し、疾病や犯罪からの保護を学ぶ。					
○文化的感受性: 異文化での行動や言動に関する注意事項を学び、地元の習慣と文化に尊重の意を示す方法を習得する。					
○シミュレーション演習: 安全危機に対するシミュレーション演習を通じて、実際の状況に適切に対処する能力を養う。					
○情報収集と評価: 異国での情報収集スキルを向上させ、信頼性のある情報源を評価する能力を身につける。					
○グループ協力: 渡航中の仲間との連携やチームワークについて学び、安全危機時のサポート体制を構築する。					
予習		渡航先の文化や社会について調べる。			約2時間
復習		異文化環境における安全危機管理の重要性について認識する。			約2時間
5. (事前演習)渡航先の文化・社会理解					
○文化理解: 渡航先の文化や歴史を学び、伝統、価値観、習慣、宗教などを理解する。言語やコミュニケーションスタイルについて学び、語学スキルを向上させる。					
○社会構造と状況: 渡航先の社会的な構造、政治、経済、教育などの基本的な情報を習得する。現地の社会課題や文化的な敏感さについて意識を高める。					
予習		渡航準備をする。			約2時間
復習		渡航先の歴史や文化、社会を理解する。			約2時間
6. 初日の過ごし方					
○オリエンテーション: 大学紹介や宿舎のルールなどについて					
○スピーキング(発表): 学年や出身地などの自己紹介					
○グループワーク: これからの文化交流について					
予習		渡航先の日常生活に必要な情報や表現などについて調べる。			約2時間
復習		1日を振り返る。			約2時間
7. 渡航先の社会・文化理解: 日常生活での表現1					
渡航先の日常生活に必要な情報や表現などについて学習します。					
○交通機関を利用方法や必要な表現について					
○観光や外食など、自由時間に必要な表現について					
○文化理解: 礼儀やマナーなどについて					
予習		渡航先の文化施設や歴史的遺産などについて調べる。			約2時間
復習		渡航先の礼儀やマナーなどについて理解する。			約2時間
8. 渡航先の社会・文化探訪1					
渡航先の文化施設や歴史的遺産などの社会・文化探訪					
○事前演習で習得した渡航先の文化や歴史、伝統などの知識を基盤に渡航先の社会・文化を理解する。					
予習		日常生活に必要な情報や表現などについて調べる。			約2時間
復習		渡航先の社会・文化を理解する。			約2時間

○授業計画	科目名	海外文化体験（Overseas Cultural Experience）	授業コード	A035251
	担当教員	高 文局		
学修内容				
9. 渡航先の社会・文化理解:日常生活での表現2				
渡航先の日常生活に必要な情報や表現などについて学習します。				
○基本的な会話表現について				
○授業等、学校生活で使う表現について				
○文化理解:許可を得る、あやまる、上手な断り方、賛成・反対などについて				
予習	渡航先の文化施設や歴史的遺産などについて調べる。			約2時間
復習	日常生活に必要な情報や表現などを理解する。			約2時間
10. 渡航先の社会・文化探訪2				
渡航先の文化施設や歴史的遺産などの社会・文化探訪				
○事前演習で習得した渡航先の文化や歴史、伝統などの知識を基盤に渡航先の社会・文化を理解する。				
予習	感謝の気持ちを伝える表現について調べる。			約2時間
復習	渡航先の社会・文化を理解する。			約2時間
11. 最終日とお別れ				
○スピーキング(会話):感謝の気持ちを伝える表現				
○スピーキング(発表):留学を通して学んだことについて				
○グループワーク:学習活動のまとめ、振り返り				
○文化理解:お別れ、お土産、お別れ後の付き合いについて				
予習	帰国準備をする。			約2時間
復習	学習活動のまとめ、振り返り			約2時間
12. (事後演習)体験結果のまとめ1				
○渡航前に設定していた目標の達成状況などについて個人でまとめます。				
体験結果を客観的に分析するとともに、文書化してください。成功体験だけでなく、困難や失敗についても取り上げてくださ				
い。				
予習	個別に達成した目標などを資料として整理する。			約2時間
復習	渡航前に設定していた目標の達成状況などについてまとめる。			約2時間
13. (事後演習)体験結果のまとめ2				
○個別に達成した目標に対してグループでディスカッションを行います。				
前回の授業でまとめた体験結果を他の学生と共有し意見を交わすことで、異なる視点や洞察を得ることを目的とし、学びの				
深化を促します。				
予習	プレゼンテーション準備をする。			約2時間
復習	体験結果を他の学生と共有し意見を交わすことで、異なる視点や洞察を得る。			約2時間
14. (事後演習)プレゼンテーション準備				
○A4用紙1枚にて体験結果をまとめます。				
構造化と焦点:プレゼンテーションを明確な構造で組み立て、主題に焦点を当て、要点を強調してください。				
具体例と感情:体験を具体的なエピソードや感情と結びつけ、聞く人の共感を引き出すようにしてください。ストーリーテリン				
グが説得力を高めます。				
質疑応答の準備:質問に備え、自分の体験に対する深い理解を示し、自信を持って回答する準備を行ってください。				
予習	プレゼンテーション準備をする。			約2時間
復習	体験結果をまとめ、プレゼンテーション資料として活用する。			約2時間
15. (事後演習)プレゼンテーション				
○個人単位でプレゼンテーションを行います。				
予習				
復習				
16.				
予習				
復習				